

第2章 計画の目標

1. 鳥取市が目指す環境像

本市は、鳥取砂丘や世界に認められた山陰海岸ジオパークをはじめとする「豊かな自然」、その豊かな自然が育んだ「多彩な四季の味覚」、多くの先人が築き上げてきた「歴史・伝統・文化」、心豊かな暮らしを実現できる「ゆとりある生活環境」等、魅力ある地域資源を持ったまちです。

一方、私たちの生活や社会経済活動は、環境へ多くの負荷をもたらし、自然環境や生活環境等の身近な環境だけではなく、地球温暖化等、地球環境へも大きな影響を及ぼしています。

本市の豊かな自然環境や伝統文化を守り、安全で安心な暮らしを将来に引き継いでいくためには、環境への負荷の少ない持続的な社会を築いていかなければなりません。

そこで、本市では、市民、事業者、市に共通する長期的な目標として、将来の鳥取市のあるべき環境の姿として以下のとおり定めます。

豊かな自然と快適な暮らしが調和した持続可能なまち鳥取市

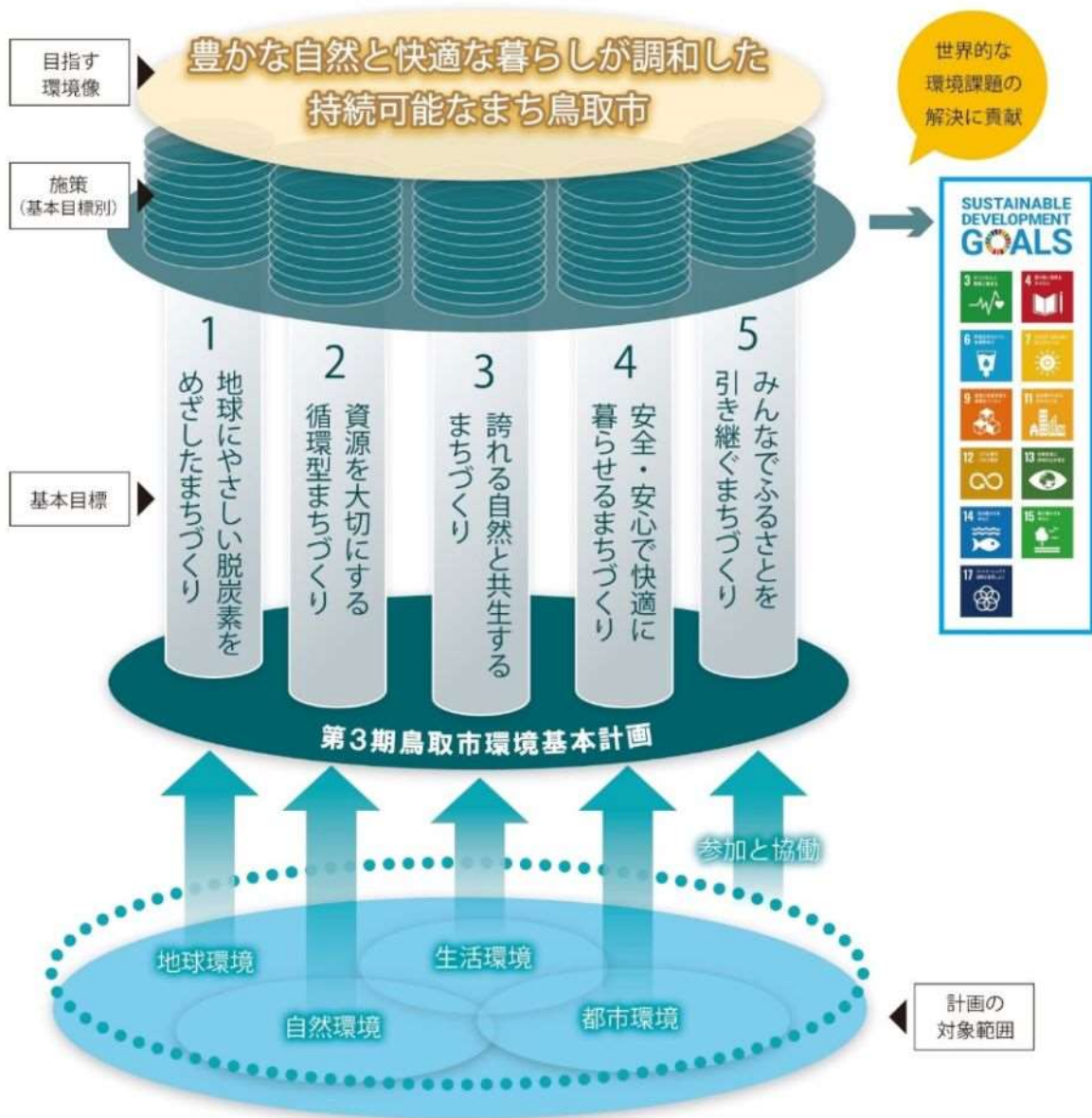
2. 基本目標

環境都市像を実現していくため、本計画の対象範囲の区分を踏まえて、以下の5つを基本目標として設定します。

基本目標 1	地球にやさしい脱炭素をめざしたまちづくり
基本目標 2	資源を大切に作る循環型まちづくり
基本目標 3	誇れる自然と共生するまちづくり
基本目標 4	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
基本目標 5	みんなでふるさとを引き継ぐまちづくり

さらに、本計画で掲げる環境施策は SDGs の環境に関するターゲットの達成を見据えながら展開するものとし、本市の目指す環境像の実現によって、世界における環境課題の解決に貢献します。

■ 基本目標のイメージ



この図は、計画に基づいた様々な取組を進めることで実現する、鳥取市が目指す環境像を具現化し、イメージとして示したものです。

■ 鳥取市が目指す環境像のイメージ



目標実現を目指すまちの姿

地球にやさしい脱炭素をめざしたまちづくり

市民や事業者の再生可能エネルギー利用や省エネの取組により、脱炭素型社会を実現します。また、気候変動の影響による環境対策や災害への備えを進めます。



資源を大切に作る循環型まちづくり

ごみの減量に向けて、リフューズ・リデュース・リユース・リサイクルの4R運動を定着させます。また、ごみの分別や再資源化、ごみの適正な処理を推進し、循環型の暮らしを構築します。



誇れる自然と共生するまちづくり

鳥取市の豊かな緑や多様な生物の生息・生育環境を保全し、人と自然の共生を進めます。また、自然とふれあう環境学習や体験等を通じて、自然を大切にすることを育みます。



安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

大気汚染や騒音・振動等の公害の発生を防止し、誰もが健康で快適に生活できる環境を確保します。また、鳥取市の美しい景観や歴史・文化を守り継ぎます。



みんなでふるさとを引き継ぐまちづくり

多様な活動団体や研究機関等と連携した環境学習・教育により、市民一人ひとりが鳥取市の環境を愛する心を育みます。また、次世代を担う人材を育てます。

